

可児市外国籍市民意識調査の結果

調査の概要

対象者：2022年10月1日現在市内に住民登録のある16歳以上の外国籍住民

標本数：2,000人

(フィリピン人900人、ブラジル人700人、ベトナム人200人、中国人120人、その他80人)

回収数：437人 回収率21.9% (前回12.9% 9%回答率アップ)

回答者について

- ・ 20～30歳代が増加している。
- ・ 今渡・土田地区に外国籍市民が集住している。
- ・ ベトナム人が大幅に増加している。
- ・ 永住者・定住者が約70%を占める。
- ・ 可児市滞在年数10～19年が約26%、20年以上の滞在者が約24%。
- ・ 持ち家や、会社の社宅や会社経営のアパートに住む人が増加している。

仕事について

- ・ 正社員や派遣会社に勤務する人が約65%を占める。
- ・ 可児市内で勤務している人が半数を超える。
- ・ 「仕事で困っていることはない」と回答した人は半数を超えるが、15%の人が、日本語が分からなくて困っている。

医療・保険について

- ・ 日本の年金（国民年金・厚生年金・共済年金）に加入している人が約77%。
- ・ 入っていないと答えた人の中で、約23%の人が日本の公的年金制度が分からないと回答している。

日本語学習について

- ・ インターネットやスマートフォンのアプリなどで学んでいる人が増加した。

防災について

- ・ 防災対策をしていると答えた人は、約60%。そのうち、食料や飲料水などを準備している人が約72%いる。
- ・ 防災訓練があることを知らない人は35.3%。
- ・ 避難場所の確認をしている人は約45%。

日常生活について

- ・ 物価の高騰などから、生活費について不便を感じていると答えた人が約 36%いる。
- ・ 利用するメディアや情報源はインターネット・フェイスブックなど SNS が最多。
市の広報（広報紙・HP・メール）利用は 19.5%（前回は 15.3%）。

市役所などの行政サービスについて

- ・ 市の国際交流員を利用したことがある人は 57.2%（前回は 69%）。

子どもについて

- ・ 子どもの中学校卒業後の進路については、「日本で高等学校、大学に進学させたい」と答えた人が 58.7%。
- ・ 日本で働くための技術を学ぶ学校に行かせたいと回答した人が、11.9%。前回より増加している。

可児市での生活満足度

- ・ 可児市での生活に満足している人は 88.3%。